
人間嫌いの自殺願望

妄想少年

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

人間嫌いの自殺願望

【Nコード】

N1114C

【作者名】

妄想少年

【あらすじ】

産まれ落とされたこの世界に何の意義があるのだろうか？意味は？僕にはその理由が分からない。助けてくれ窒息しそうなんだ。

青に蒼を絡めとると雲が出来た。
赤に朱を絡めとると血が出た。
緑に碧を絡めとると森が出来た。
水に顔を絡めとると死ぬ事が出来た。

『人間嫌いの自殺願望』

暗い部屋の片隅で僕という一個体は目覚める事になる。
窓の外はまだ暗闇に包まれており、早起きというには些か早い時間だった。

目を擦って部屋を見渡すと相変わらず部屋に脱ぎ捨てたTシャツと刃渡り二十センチの包丁があった。いつ死んでもいいようにと、僕が百円ショップで買ってきた包丁だった。

立ち上がりその包丁を手にとってみた。

鈍い光が僕の脳に入ってくる。流石に朝のこの時間は死にたくなる。ただ別に死にたい訳じゃない。人間という人種に飽きたのだ。

飽きた

そう、その一言に尽きる。

人間という人種に飽きたのだ。

人間という動物に飽きたのだ。

人間という生命に絶望したのだ。

訳という訳はない。

ただ漠然と……そう思ったただけだ。

包丁の先を指先に強く当ててみた。

小さな傷口から赤より少しだけ紅い血が真珠の玉のように指先に乗っている。この中に鉄やら白血球やらビタミンやらが入っているのだと思うと不思議な感じがした。

傷口を少し包丁の先で抉ってみる。

激痛が走ったが、僕という入れ物はそれでも尚、傷口を抉ってみたいのだ。

包丁の先が脂肪を突き破り、筋肉を切り裂いて、爪先まで進む。血という血が指先から湧き水のように溢れ出ていく。

僕はそれを見ながら生きていると感じた。自分はまだ生きているのだと確信する。

それ故に絶望する。

親のエゴで生み出された、この生命に何の意味があると言うのだろうか？

競争社会に生み出された、この命に何の意義があると言うのだろうか？

行く先の見えないこの道にライト一つなく、手探りで進む意味は？ 意義は？

僕という人間は悲観し落胆し絶望する。

生まれ落ちた意味

生まれ落とされた意義

生まれてきた使命

産まれてきた謝罪

生きようと思った人間だけが生きればいいのか。

僕は些か疲れた。

いや、飽きた。

窓の外は今から動き出そうとしていた。

部屋の空気は沈殿していた。

包丁は僕の腹の中にあっただ。

世界はまだ……その事に気付いていなかった。

完

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1114c/>

人間嫌いの自殺願望

2010年10月11日00時04分発行